

21. その他

文献

植田尚子, 丸田知子, 宇野泉. 透析患者にアロマセラピーを試みて—不快症状の対策として—. 淀川キリスト教病院学術雑誌. 2004; 17-9. 医中誌 web ID 2005292837

1. 目的

透析患者特有の不快症状に対するアロマセラピーの効果について評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (cross over) (RCT-cross over)

3. セッティング

腎クリニック

4. 参加者

週3回、腎クリニックで透析を受けている患者 43人

5. 介入

Arm 1: アロマオイル群 15人 (男7、女8、平均年62才、透析経過21ヶ月)

Arm 2: オリーブオイル群 13人 (男8、女5、平均年齢64才、透析経過16ヶ月)

Arm 3: 無処置 (コントロール) 群 15人 (男9、女6、平均年齢65才、透析経過17ヶ月)

下肢を中心に、約8分マッサージ、期間1週間、週3回

6. 主なアウトカム評価項目

アンケート調査、不快症状の4段階評価

7. 主な結果

1) マッサージ前後で、アロマ群は手足の搔痒感 ($p=0.001$)、穿刺部搔痒感 ($p=0.012$)、透析中の体動制限による苦痛 ($p=0.000$) が改善。オリーブオイル群は下肢冷感 ($p=0.041$)、透析中の体動制限による苦痛が減少 ($p=0.002$)。

2) コントロール群、全項目差なし。

3) 不快症状合計点の3群比較では、アロマ群で有意差 ($p<0.05$) あり。

8. 結論

透析患者の不快症状に対して、アロマオイルマッサージは有効である。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

透析患者の不快症状の除去は、臨床上重要な意義がある。その除去にアロママッサージの有効性の評価が必要であろう。また本試験はアロマ群、オイル群、コントロール群に分けてシステムティックに比較している点では評価できる。しかし、マッサージ施行者が同一であるのかどうか記載がないので不明だが、マッサージ中のコミュニケーションの影響や、アロマオイルのみの検討が必要と思われる。

11. Abstractor and date

緒方昭広 2011.3.18